

# ラグビーワールドカップ2019™ 大会開催による大阪府への経済波及効果について

ラグビーワールドカップ2019大阪・花園開催推進委員会

## 〔試算条件〕

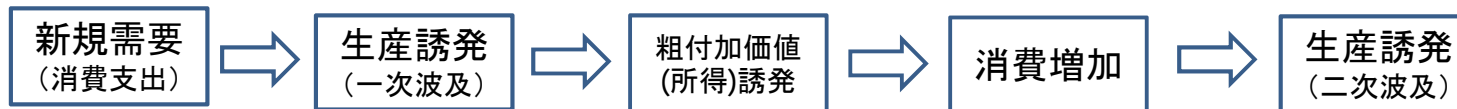
- 開催試合数 → ■本大会…5試合 ■ファンゾーン開設…10日間 ■テストイベント開催…1回
- 観客・関係者数 → ■観客数150,000人(国内125,000人、海外25,000人)  
■ファンゾーン来場者数100,000人(国内70,000人、海外30,000人) ■選手・関係者2,800人
- 新規需要要素 → ■大会運営費(スタジアム改修費を含む)  
■観客・関係者による消費支出(交通、宿泊、飲食、土産・買物等)

大会開催に伴う新規需要(消費支出)額 約 257 億円

## 〔新規需要(消費支出)額の内訳〕

- 大会運営費(スタジアム改修費を含む)15,135百万円 ■交通費1,770百万円 ■宿泊費1,854百万円
- 飲食費1,776百万円 ■土産・買物代4,488百万円 ■その他632百万円

## 波及効果の流れ



大会開催に伴う大阪府内への経済波及効果 約 340 億円

この経済波及効果は、「(公財)堺都市政策研究所 理事長 宮本勝浩(関西大学名誉教授)、主任研究員 王 秀芳」に試算をお願いしました。